

議長定例記者会見（平成 28 年 11 月定例会閉会后） 概要

日 時：平成 28 年 12 月 20 日（火）
午後 3 時 00 分～午後 3 時 16 分
会 場：議会第 1 会議室
出席者：福井章司議長、武藤恭博副議長

○議長からの発表

1 平成 28 年 11 月定例会の総括

(1) 一般質問について

今回は 28 名の議員が登壇した。（議員 1 人当たりの質問時間＝平均 52 分強）

一般質問では、

- ・ 駅周辺（特に北側）の国体に向けた環境整備のあり方
- ・ 人口減少問題
- ・ 世界選手権後のバルーン大会の諸問題
- ・ バルーンミュージアムの集客対策

等が印象に残り、活発な議論が行われていたように思う。

(2) 常任委員会の審査について

委員長の口頭報告は、文教福祉委員長のみが行ったように、今定例会においては、特に高木園の問題、松梅児童館の問題、子どもの医療費等、文教福祉委員会に付託された議案に課題が集中していた。

(3) 意見書案について

意見書案の審議において長時間の議論が行われた。提出された意見書案中、全会一致のものを除いた 4 本の意見書案において、提案理由説明及び討論で 80 分を要しており、議論は尽くせたのではないかと思う。

(4) 佐賀市議会の今後の予定について

- ①次回定例会：2月28日（火）開会予定

(5) その他

①議員研修会について

定例会開会前の 11 月に山梨学院大学の江藤教授を招いて、議会基本条例についての研修を実施した。

②議会基本条例の検証について

昨年、議長に就任した際に、政治倫理等に関連し、再度議会基本条例を見つめ直すことを大きな課題としていた。現在、議会運営等改革検討会において検証作業を行っており、内容の充実や実態に即しているかどうか、条例を逐条的に検証しているところである。

○記者との主な質疑応答

【問】今定例会からタブレット端末の利用が始まったが、有効に活用できそうか。

【議長】今定例会では、各委員会の研究会において、それぞれ1つずつテーマを選定し、タブレット端末の運用を行った。

運用に当たっては、議員の個人差もあるが、操作になれた一部の議員からは、勉強のためにも、紙資料と併用でもいいのでタブレット端末の利用機会をふやしてほしいとの意見も出ている。

【問】一般質問の通告者が非常に多いが、質問項目が重複した場合の対応は。

【議長】質問項目が重複した場合は、質問の観点を変えたりして内容が重複しないよう調整を行っている。今定例会では、高齢者ドライバーの問題について、当初4人が通告を行っていたが、2人目までは観点を変えた形で質問を行い、3人目以降は取り下げという形となった。

こういった場合の対応としては、特に同じ会派での重複の場合は一本化も含めた調整を行っている。また、他の会派の議員と重複した場合でも、観点を変える等の調整を図るべきだと考える。

【問】一般質問の中で、高齢者ドライバーの事故に関する質問が多かったが、この件については、議長はどのような考えを持っているのか。

【議長】この問題に関しては、まず、行政として何がどこまでできるのかという部分がある。免許の自主返納については、返納後の高齢者の交通手段の確保の問題があり、公共交通機関の問題にもなってくるため、そこを含めたトータル的な対応を検討していく必要がある。